

# 「やさしい日本語」講座

在住外国人向け情報紙「VIVA!ひめじ」や日本語ひろばのボランティアのスキルアップおよび市民へのやさしい日本語の普及を目的に、3月4日（水）にイーグレひめじにて、やさしい日本語講座を実施しました。講師は、神戸YWCA学院講師の斎藤明子先生です。22名が参加しました。



前半では、やさしい日本語とは何か、やさしい日本語での会話の仕方について、後半では、やさしい日本語による文章の書き方について講義が行われました。まず、やさしい日本語では、異文化を理解する「柔らかい心」と、どちらが伝わりやすいかを考える「柔らかい頭」が必要であることを学びました。やさしい日本語に正解はなく、相手の

文化背景や日本での生活環境、日本語の学び方によって、伝わりやすい表現や言葉選びは変わります。伝わらない場合は、何度も同じことを言い直すのではなく、言い換えることが大切だと教わりました。また、「〇〇（名詞）は××（名詞）です」という表現を使うようにすること、敬語・遠回し・飾りの言葉を使わないこと、名詞に“お”をつけたり、読み方が濁音になるとき、理解しにくいことなども学びました。



受講生同士でどのように言い換えるのがわかりやすいか、ワークショップを行いました。受講生同士、積極的に意見交換が行われました。

講義の最後に在住外国人向け情報紙「VIVA!ひめじ」の編集ボランティアとやさしい日本語翻訳ボランティアの体験談を伺いました。また、「VIVA!ひめじ」の改善点などについて話し合いました。

受講生には、講座で学んだ知識を今後のボランティア活動や外国人との交流の際に活かしていただきたいと思います。

本事業は、ひょうご国際交流団体連絡協議会の人材育成事業です